



1. 研修旅行（研修旅行担当より）



1年生（ブライトンホームステイ）

6月16日(日)～21日(金)までブライトン研修旅行に行きました。ブライトンは、イギリス南部の海沿いに位置する美しい都市であり、リゾート地としても有名です。歴史的な建物やビーチ、豊富な文化施設が魅力で、毎年多くの観光客が訪れる町です。6日間のホームステイは、生徒たちにとって非常にチャレンジングな経験となりました。生徒たちは、初日は緊張した面持ちでステイ先に向かいましたが、次第に現地の生活にも慣れ、自信が持てるようになりました。初日に訪れた Seven Sisters はサセックス州の南海岸にある美しい白亜の崖が続くエリアで、その壮大な景観は息をのむほどでした。



2日目は、午前には語学学校での学び、午後には Brighton のウォーキングツアーに参加し、Brighton の中心部にある Churchill Square に訪れました。ここは、ショッピングや飲食店などが立ち並ぶ賑やかな広場です。



3日目の午後は、Brighton Cookery School で料理体験をしました。この学校では地元の新鮮な食材を使って料理を作ることができます。シェフから英語で説明を受けながら、グループで役割分担をし、Chicken Saltimbocca と Prosecco Zabaglione を作り、お腹いっぱい食べました。



4日目の午後は、イギリスに一つしかない Earthship を訪れました。Earthship とは、リサイクル素材を使って建てられたオフグリッドハウス（公共のインフラを使用しない建物）のことで、エネルギーや水を自給自足できるエコハウスです。生徒たちは粘土を使ったワークショップを体験し、多くを学びました。



5日目の午後は、各グループで自由に Brighton の町を散策しました。生徒の中には自分たちで電車に乗り、サッカーの三苦選手が所属するアムクス・スタジアムを訪れた生徒もいました。事前に行きたい場所を調べていたおかげで、有意義な時間を過ごすことができました。

最終日には、お世話になったホームステイ先にお別れを告げ、語学学校での学習の集大成として、持続可能をテーマにしたプレゼンテーションを行い、5日間の学びを締めくくりました。その後、i360に登り、この1週間の研修旅行を振り返るひと時を過ごしました。



研修旅行中は小さなトラブルがいくつかありましたが、生徒たちは一つ一つ困難を乗り越え、大きく成長したと感じています。彼らにとって今回の経験がコンフォートゾーンから出る良い機会となったのではないのでしょうか。今後の学校での活躍に期待しております。最後に、保護者の皆さまにおかれましては、今回の研修旅行を実施するにあたり、生徒たちの送迎など様々なことにご協力いただき、心よりお礼を申し上げます。

2・3年生（イングランド北部・スコットランド）



6月17日(月)から5泊6日でイングランド北部とスコットランドへの研修旅行へ行ってきました。事前学習では、イギリスの産業革命やナショナルトラストについて学び、生徒自身でしおりを作成しました。旅行中は毎日天気にも恵まれ、リバプールの臨海都市の雰囲気や湖水地方の大自然を肌で感じることができました。スコットランドのエディンバラでは、ショートブレッド作りやスコットランドスピリットなど現地の伝統的な文化を体験しました。ショートブレッド作りでは、個性的な形をしたお菓子を作ることができ、満足している生徒が多く見受けられました。また、ホーロード宮殿やエディンバラ城では、スコットランドの歴史についても学ぶことができ、とても有意義な旅行となりました。



最終日に搭乗予定だった飛行機が欠航となるハプニングもありましたが、各々が臨機応変に行動でき、無事に学園に戻ることができました。本当にたくさんの出来事があり、生徒にとっては、一生忘れられない思い出になったと感じています。保護者様におかれましては、生徒の送迎等にご協力いただき、誠にありがとうございました。

〈生徒の感想より〉

(1日目) 1日目は着いて最初にエティハドスタジアムに行きました。私はサッカーにあまり詳しくないので楽しめるのか心配でしたが、着いて真っ先に目に入ったスタジアムはとても大きく一瞬で目を奪われました。中に入ってみると、外観は全てマンチェスターシティチーム仕様になっており、一面水色で埋め尽くされていました。更衣室は、自チームの部屋と敵チームの部屋で少し内装を変えて、マインド的に相手より有利に立てるようにするなど工夫が凝らされていました。サッカーに詳しくない私でもとても充実して楽しむことができ、最高の経験になりました。



(2日目) 特に印象に残ったのはビートルズとヒルトップでした。リバプールでは、町中のあちこちに銅像や、ビートルズのメンバーの顔があり、町の人からも深く愛されている様子でした。彼らの銅像とともに写真を撮ると、ビートルズの軌跡を辿っているようで心が躍りました。

一方で、ヒルトップのある湖水地方はとても穏やかな場所でした。牛や馬、羊などが数頭いて、近代的なビルやマンション等からは考えられないほどの自然あふれた場所で、心なしか空気がおおいかったと思います。湖水地方の有名な場所といえるヒルトップは湖水地方のいいところを集めたような場所で、可憐な花と豊かな緑に囲まれた癒される場所でした。ビアトリクス・ポターの家もそれらの風景に溶け込むような風貌で、大変かわいらしかったです。



(3日目) エディンバラに到着して、ニューラークへ行きました。ここは世界遺産にも登録されています。僕たちは、ここで施設内ゴンドラのようなものに乗約 10 分間の体験をしました。そこでは幽霊で怖がらせてくる場面や多くの歴史を振り返る場面などがあり、体験後には足が少し重くなりました。山の間にあるため、風が強いですが景色はとても綺麗でした。



(4日目) 4日目は2つのグループに分かれて行動しました。僕達は最初にショートブレッドを作りました。ショートブレッドの中にも3種類があって、1つ目は、shortbread fingers、2つ目は、よりサクサクな食感だった Highlanders、3つ目は、ドレスのような形になるショートブレッドです。味も美味しくショートブレッドにも違いがあるんだなととても新鮮な気持ちになりました。その後ナショナル・ギャラリーで絵を鑑賞し、ホリールドを訪れました。ホリールドは、今でも王室の方々が使われていて、このような場所で催しや式などをやるんだなど驚きと感動を感じました。夕食はショーを見ながらの食事となり、ダンスや歌を聴きながら、楽しく食事をする事が出来ました。



(5日目) 昼食を食べた後、私たちは少し歩いて、ハリーポッターの作者が第1作目を書いたと言われている the elephant house というカフェを見に行きました。中に入ることはできませんでしたが、外観を見ることのでき良かったです。また、その近くにある bobby の像を見に行きました。事前学習した際に、とても感動するストーリーだと知ったので、実物を見ることができて嬉しかったです。



2. 現地校 (Sherborne Girls) との交流会 (T-CAS 担当より)



6月13日(木)に以前からオンラインで交流していた日本語を学ぶ現地校の生徒たちが学園に遊びに来てくれました。学園生たちは4月から3つのチームに分かれて、もっと日本語を学びたい!と思ってもらえるような活動を考え、試行錯誤しながら交流会の準備を進めてきました。リハーサルで見つけた課題を振り返り、活動内容を改善したり、当日起こりうるリスクを想定して準備したりすることで、交流会を大成功させることができました。生徒たちにとって、自分と仲間の成長を感じた3か月になったはずなので、学んだことをこれからの活動に生かしてほしいです。



★和菓子づくりチーム★ いちご大福・どら焼き



★昔遊びチーム★ 手裏剣・めんこ・とんとん相撲・オリジナルかるた



★ゲーム・運動チーム★ 大縄跳び・二人鬼ごっこ・伝言ゲーム・クイズ



3. キャリアガイダンス (進路指導部より)

6月3日(月)、進路を考える一環として、FC Tokyo から日笠正昭さんをお招きし、キャリアガイダンス「スポーツビジネス講座」をオンラインにて開催しました。スポーツビジネスやそれに関連する職業、クラブの費用構成といったスポーツビジネスの概要の他、さまざまな職業を知り、進路を考えていく際のヒントや、学生の今、やっておくべきことなどをお話いただきました。生徒からはスポンサー契約やチケット売上額、選手の契約金や違約金など、突っ込んだ質問が出ていました。今回の FC Tokyo によるキャリアガイダンスは、全 2 回シリーズの 1 回目となります。次は広告やスポンサーの取り組み等について学んでいきます。



4. IB ディプロマプログラム保護者説明会 (IB Department より)

6月6日(木)に、本年度第 1 回目の IBDP 保護者説明会を開催いたしました。グローバルスタディーズコースに所属する生徒と、その保護者の方々にご参加いただきました。

説明会では、IB 教育の概要、本学園での IBDP のカリキュラムの説明、そして IB 生の選考基準についても詳しく説明しました。IB は全人教育のため、いわゆる主要 5 科目の学業成績だけでなく、すべての教科が重要となります。IBDP を希望する生徒の皆さんは、選考基準をクリアするために夏休みも勉学に励みましょ。夏休みは集中して学習に取り組む絶好の機会です。しっかりと準備を整え、自信を持って選考に臨んでください。

5. 生徒会役員選挙 (選挙管理委員会より)

6月24日(月)、LHR の時間を使って生徒会役員選挙が行われ、2024 年度の生徒会役員は、下記のようになりました。新しい生徒会役員と生徒たちは、今年度も更に活気のある学園づくりに取り組んでほしいと思います。

会長	井出雛叶
副会長	城谷礼理
副会長	大川紗知
会計	中田莉菜
書記	安原湊



6. 国際文化交流委員活動報告 (Stoke Poges 祭り参加・現地校交流・緑舎祭準備) (KBK より)

6月8日(土)に近隣 Stoke Poges 村でお祭りがあり、5年ぶりに参加してきました。KBK のメンバーと、ボランティアで参加した生徒 21 名は、ソーラン節とよさこい節を披露しました。ソーラン節は中学の時に踊ったことのある生徒が多かったのですが、石原奨くん (3年) と井上樹くん (1年) を中心に何度も練習をして、当日は帝京の赤い法被を羽織って、力強い踊りを披露しました。よさこい節は、担当久保の故郷高知の盆踊りをアレンジしたもので、カラフルな浴衣を着た 8 名の女子生徒がイギリスでは珍しい鳴子を鳴らして華やかに踊り、近隣の人々の注目を集めました。今後も学園の皆で英国に日本文化を広げていきたいと思っています。参加した生徒の皆さん、本当にお疲れさまでした! Well Done. 保護者の皆様には、週末にも関わらずお子様を学園まで送迎いただき、心より感謝しております。





練習風景

6月11日(火)に St Bernards 校の生徒 13 名が本校を訪れ、KBK と定期交流を行いました。今回は KBK のメンバーが計画した「大縄跳び」と「はないちもんめ」のゲームをして交流をしました。どちらもイギリスの生徒には馴染みのないゲームで、最初は皆で縄跳びのタイミングを合わせられませんでした。跳べることができた時には歓声が上がっていました。また「はないちもんめ」は日本の高校生にとっても懐かしい遊びで、楽しそうに交流する姿は微笑ましいものがありました。



7月13日(土)の緑舎祭は、KBK が中心となって計画を進めています。今年のテーマは「愛国心」-自国を愛するように世界の国々も愛そう！で、緑舎祭の装飾のために、現在学園をあげて世界の国旗を製作しています。ロンドン在住の保護者の皆様には、緑舎祭のポスター掲示にご協力いただき、心より感謝しております。今回 Stoke Poges 村でのお祭りで踊った踊りは、7月13日(土)の緑舎祭でも披露する予定です。

7. 各コースより

サッカーコース

ただいま UEFA Euro 2024 で大盛り上がりですが、サッカーコースでは中間考査が終わった翌日に、一足早くイングランド代表のテストマッチを観戦してきました。Seeing is believing(百聞は一見に如かず) のことわざのように、英国ならではの経験になりました。

TEIKYO UKとして参加している「5 a side」では、選手全員で奮闘し、現在リーグ首位です。特殊なルールにも慣れてきて、体格の大きい相手にも負けないように工夫したり、ボールを奪われないように工夫したり、シュートブロックに入ったりしながら、試合の進め方も徐々に上手くなっています。



Current standings

Pos	Club	PL	W	D	L	Pts
1	TEIKYO UK	8	7	1	0	21
2	Velo united	9	7	0	2	21
3	TwoTouch	9	6	0	3	18
4	amos fc	9	4	2	3	14
5	no manners	9	3	1	5	9
6	black paradise	8	2	2	4	7
7	EZ FC	6	1	1	4	4
8	Old Sms	7	1	1	5	3

アートコース

ISCA による授業では、高校 2 年生は IGCSE に提出するための「コースワーク」と呼ばれる提出課題のレイアウトや、繰り返りの記述の仕上げ作業に入りました。高校 3 年生と 1 年生は、毛糸や布を使って Weaving と呼ばれる「縦編みと横編み」の技法を学習しました。月曜日の授業では、高校 2 年生は美術史を学び、高校 3 年生は滑石と呼ばれる比較的柔らかい石を削り、動物の石彫制作を行っています。1 枚の白い布からテキスタイルデザインを行う服作りや油絵制作も完成に近づいてきました。素材を知り、新しい技法と培った経験で「想像を形にしていく」をモットーに表現する楽しさと共に作品制作に励んでいってほしいと思います。





8. 寮便り

中間審査で幕開けした今月は、研修旅行を挟んで、あっという間に月末を迎えてしまいました。それでも、14日(金)に開幕した Euro2024 をコモンルームで観戦したり、いちご狩りに出かけたり、ミュージカル「千と千尋の神隠し」を観劇したりと、5時前には日が出て21時を過ぎても明るく、雨も少ない英国のステキな夏を、より楽しむことができる場づくりに励んでいます。また、Sarah が Matron として新たに寮スタッフに加わり、寮生たちは早速、日常的に発生する自分のニーズを、自分が身につけた英語をかき集めながら伝えるということに果敢にチャレンジしています。

【新メイトロンのサラより】



Hello, I'm Sarah, and I'm the new matron. I come from Lincolnshire where I held pastoral roles in various capacities such as working with complex needs individuals and mentoring people through turbulent times. At the time of writing, I have only had the pleasure of meeting a few of the children and they were polite and respectful and also made me feel very welcome. I look forward to collaborating with others in the shared responsibility of cultivating empathetic and self-reliant pupils so that they will become well-rounded citizens embodying Teikyo's founding spirit.

こんにちは、メイトロンのサラです。私はリンカンシャー出身で、今までに様々なニーズの生徒たちを世話する役割を担ってきました。学園で接した生徒たちはみな礼儀正しく敬意を持って接してくれて、温かい歓迎を受けました。私は学園生が帝京の建学の精神を体現し、共感力と自立心を備えた大人となれるよう、他のスタッフと協力していきたいと思っています。

9. 保健室より

研修旅行後は疲れや気温の変化もあり、体調を崩す生徒が続いています。夏休みまであと2週間あまりですが、文化祭の準備でまた忙しくなる前に、意識的に休養を多く取り、体調を万全に戻してほしいと思います。

6月13日(木)と27日(木)に歯科検診が行われました。夏休み中に治療が必要な生徒の保護者の方には、別途お知らせいたします。

10. 7月の月間予定 ①1年生、②2年生、③3年生

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	漢検（実施なし） 週末ホームステイ予定日（～7）
6	土	IELTS（希望者）
7	日	英検2次
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	授業参観、①IBDP 講話（希望者）
12	金	緑舎祭（校内）
13	土	緑舎祭（公開日）全校集会
14	日	帰国便ロンドン発, 学園通信発行
15	月	（7/13 代休日）
		略
31	水	
		②IB チューター

帝京ロンドン学園の Instagram は [コチラ!](#) ▶▶▶

